

---

## 三浦 一馬 Kazuma Miura, Bandoneon

1990 年生まれ。10 歳よりバンドネオンを始め、小松亮太に師事。2006 年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、自作 CD の売上でアルゼンチンに渡航。現在に至るまで師事。

2007 年、井上道義・神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演で、マルコーニ作曲のバンドネオン協奏曲《Tangos Concertantes》を日本初演。このオーケストラ・デビュー以降、国内の主要オーケストラと共演を重ねている。

2008 年 10 月、イタリアで開催された第 33 回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。2011 年 5 月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシュメツトら世界的名手と共演、大きな話題と絶賛を呼んだ。

2012 年には師のマルコーニと東京・兵庫・名古屋で共演を果たし、白熱した演奏で聴衆を沸かせた。

2014 年度出光音楽賞を受賞。2016 年はデビュー 10 周年を迎え、恩師ネストル・マルコーニとの共演で再び日本ツアーを開催。7 月には大阪フィルハーモニー交響楽団第 500 回定期演奏会でルイス・バカロフ作曲の「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

2017 年、自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスツ」を結成。

2018 年 10 月キングレコードより、全編ピアソラ作品によるキンテート（五重奏）編成の CD「Libertango」をリリース。リリース記念を兼ねた全国 11 か所を回るキンテート・ツアーを成功に導く。

2021 年、ピアソラ生誕 100 年に合わせて、東京グランド・ソロイスツとしての初音源・最新盤「ブエノスアイレス午前零時」を 3 月リリース、同時にピアソライヤーを記念した全国ツアー公演の開催。

2021 年 NHK 大河ドラマ『青天を衝け』大河の紀行にてバンドネオン独奏。

現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器 Alfred Arnold。

(令和 3 年 8 月現在・転載禁止)